

平成30年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

貸借対照表 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,211億13百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 1,134億61百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 78百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 142億15百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 186億19百万円	負債合計 1,276億76百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 79億53百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
うち、現金預金 24億32百万円	純資産合計 2,200億87百万円 ②
資産合計 3,477億63百万円	負債・純資産合計 3,477億63百万円

資金収支計算書	
「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したものの	
前年度末資金残高	14億81百万円
本年度資金収支額	2億04百万円
1 業務活動収支 (税込、補助金支出、職員給与等)	85億00百万円
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等)	△38億62百万円
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還)	△44億34百万円
本年度末資金残高A	16億85百万円
前年度末歳計外現金残高	6億59百万円
本年度歳計外現金増減額	88百万円
本年度歳計外現金残高B	7億47百万円
本年度末現金預金残高(A+B)	24億32百万円

純資産変動計算書	
貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したものの	
前年度末純資産残高	2,189億17百万円
当期変動額	11億70百万円
純行政コスト(▲)	△805億95百万円 ③
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等)	806億79百万円
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等)	10億86百万円
期末純資産残高	2,200億87百万円 ②

行政コスト計算書	
1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの	
【経常費用】A	839億87百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用)	411億26百万円
2 移転費用 (補助金等、社会保険給付、他会計繰出等)	428億61百万円
【経常収益】B	42億18百万円
1 使用料及び手数料	25億52百万円
2 その他	16億66百万円
純経常行政コストC(A-B)	797億69百万円
1 臨時損失D	10億61百万円
2 臨時利益E	2億35百万円
純行政コスト(C+D-E)	805億95百万円 ③

【4表の相互関係】	
①	「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
②	「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
③	「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況
(平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口201,887人に基づき算出)

- 資産 172万3千円
- 負債 63万2千円
- 行政サービスの提供 39万9千円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率
●将来の世代の負担率 34.67%

●有形固定資産減価償却率
(公共施設等の資産老朽化率) 60.00%

基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか
●58億87百万円の黒字

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報	
業務活動収支	85億00百万円
支払利息支出	8億70百万円
投資活動収支	△38億62百万円
基金積立収支	3億79百万円
基礎的財政収支	58億87百万円

※一般会計等の内訳

- 【一般会計等】
- ・一般会計
 - ・公園墓地事業特別会計
 - ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計